

2022 年度 オンライン授業に向けての通信環境の整備について（補足事項）

文化学部教務委員会

皆さま、高知県立大学文化学部への入学、おめでとうございます。

さて、新年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、4 月以降も教室で受講する対面授業と、自宅等で受講する遠隔授業（科目により異なりますが、オンデマンド動画、リアルタイム同期双方向型、オンラインでの課題提出などの授業）が組み合わせられて実施される予定で進んでおります。そのような授業に対し、学び続けることに支障をきたすことなく、効果的に受講し学習成果を高めていくためにも、入学に際しましては、まずは本学ホームページ（重要なお知らせ「新入生のみなさまへ」）を定期的にご覧くださいようお願い申し上げます。

さて、以下に文化学部からの補足事項（1）～（4）を準備しましたので、こちらにもお目通しいただければ幸いです。

（1）大学生活において、パソコンが必要となる理由

パソコンには、大きく分けて、持ち運びできるノート型パソコン（ラップトップ）と、備え付けるデスクトップ型パソコンの 2 種類があります。ノート型パソコンがあると、自宅だけでなく教室や外出先など、どこへでもパソコンを持ち出して学習できるようになるため、ノート型パソコンの保有を特にお勧めします。

パソコンは、10 インチを超える大きな画面で、キーボードによる入力が行えるため、レポートなどの文書の作成、データを集計しての整理、計算、グラフやプレゼンテーション資料の作成などにおいて作業効率が格段に高まります。

さらに、上の学年に進んで、卒業研究、卒業論文の執筆を行う際には、所属する研究室によって差もありますが、多くの場合、Office 系のソフトウェアを使いこなして、研究の資料や論文を作成することが求められるようになります。パソコンに関するスキルは、大学卒業後のキャリアの中でも活かせる汎用的技能であり、大学在学中に身に付けることが望まれます。

（2）大学で使用するパソコンに必要な性能

大学では主に、インターネットを閲覧し情報を入手する、動画を再生する、文章を作成する、図表を作成する、といった使用方法が想定されます。これらの機能を果たすためには、数十万円もするハイスペックのパソコンでなくても十分です。ただし、パソコンの性能があまりにも低すぎると、たとえば YouTube の講義動画を見ながら、PDF ファイルや Word ファイルを同時に

閲覧したり、あるいは、プレゼンテーションソフトを編集したり、音声を再生したりする場合に、動作が遅くなり、学ぶことにストレスがかかってしまうこともあります。したがって、動画の再生や複数のファイルを同時に開くといった動作に支障がでないレベルの性能があると、授業をスムーズに受けることができるようになるでしょう。さしあたり、大学で学習するための望ましいレベルの性能としては、次の表1を参考にしてください。

表1 大学の授業を受けるときに推奨されるノート型パソコンの性能

OS (オペレーティング ・システム)	CPU (演算装置)	メモリ (作業容量)	ストレージ (記憶容量)
ア) Windows10	Core i3 または Ryzen3 以上	8GB 以上	128GB 以上、SSD 推奨
イ) macOS	Core i3 または M1 以上	8GB 以上	128GB 以上、SSD 推奨
ウ) Chrome OS	Celeron 以上	4GB 以上	16GB 以上、SSD 推奨
エ) Linux	Celeron 以上	4GB 以上	64GB 以上、SSD 推奨

作成：高知県立大学文化学部教務委員会

なお、表1の内容は、大学の授業を快適に受けるために望ましい性能の目安としてお示ししたものであり、これを満たさないスペックのコンピュータであるからと言って、大学の学習が不能になる、授業が受けられなくなる、というものではありません。

パソコンには、様々なソフトを動かすための基本となるOS（オペレーティングシステム）が搭載されています。大学の授業を受けるときには、MacでもWindowsでも他のOSでもかまいません。近頃では、3万円程度から入手できる廉価なGoogle Chromebookというノート型パソコンも普及しています（注：Chromebookはネット上にファイルやソフトを保存して使用するという使い方が前提となっています。したがって、記憶容量などが低スペックでも動作するという特徴を持っています。逆に、自宅や外出先の通信環境が整っておらずネットに接続できない場合には機能が限られることになる点に注意してください）。

また、不要なパソコン（2020年にサポートが終了したWindows7がインストールされたパソコンなど）や数千円で入手できる格安パソコンに、性能が低いパソコンでも軽快に動作するLinuxという無償OSをインストールして使うことも可能です（注：Linuxには様々なバージョンがあり、他の一般的なOSに比べると、自分自身で操作方法を学び続ける技能が求められます。関心があれば、チャレンジしてみてください）。

文書や図表を作成するためのソフトウェアであるMicrosoft Officeの購入は、不要です。入学後、本学がライセンス契約をしているMicrosoft Officeのワード、エクセルその他のソフトを全員、無償でインストールすることができます（注：これらのソフトの使用期限は、卒業するまでとなっています。卒業後は大学のソフトは使用できなくなります）。

(3) お住まいになる居所の通信環境について

大学のキャンパス内では、無線 LAN が設置されており、自分のパソコンやスマートフォンなどの通信機器で、インターネットを利用することができます。

それに加えて、自宅や下宿先の通信環境を整えておくことは、大学生活を送る上での自身の修学環境を快適かつ効果的なものにするために役立ちます。通信環境の整備の方法には、金銭的な負担の違いや通信速度などの違いから、いくつかの代替的な手段があります。以下に、永国寺キャンパスがある高知県内のインターネット接続環境を紹介します。

※以下の網掛け部分の情報は、2022年3月時点で知り得た情報に基づいたものであり、各サービスの内容やプラン・料金・付帯条件等は各事業者により随々変更される場合があるため、各事業者が提供するサービスの詳細な内容は、契約時に十分にご確認ください。また、下記の金額は税抜価格で表示されています。

①インターネット接続できる下宿を探す方法

インターネットが利用できる部屋は、不動産情報では、「インターネット完備物件」（入居後、何もしなくてもすぐに接続できる）や「インターネット対応物件」（入居後に個々に事業者と契約したり工事したりして回線を開通することによって接続できるようになる）などと呼ばれます。インターネット完備物件の場合は、月々の家賃に接続料金が含まれている場合と、月々の料金とは別料金になっている場合がありますので、ご確認ください。

インターネットが利用可能な物件を選ぶときには、無線のみの提供であるのか、有線も利用可能であるのか、という点も確認されることをお勧めします。集合住宅の無線は、その場所で一緒に暮らしている住民の共有の財産であり、個人が独占できないものであるため、同時に複数名が利用している場合には、通信速度が低下する場合があります。

②スマートフォンのデザリング機能を用いる場合

これにはスマートフォンを別途契約していることが前提です。月間の通信量には、制限がある契約と無制限の契約があります。

- ・ドコモ「5G ギガホ プレミア」 月額 6,650 円（通信量無制限）
- ・au「使い放題 MAX 5G」 月額 6,580 円（通信量無制限。デザリング時は 30GB）
- ・ソフトバンク「メリハリ無制限」 月額 6,580 円（通信量無制限）
- ・楽天モバイル「Rakuten UN-LIMIT VI」 月額 2,980 円（通信量無制限）

③自宅・下宿に光回線を引く場合

現在、お住まいの自宅、もしくは下宿などに光回線を引く場合は、工事が必要です（工事代金・手数料は数千円～数万円程度）。

<インフラ系>

・STNet ピカラ光 戸建：月額 4,200 円、集合住宅：月額 3,200 円（四国電力利用時の割引料金）

・NTT 西日本 フレッツ光ネクスト 戸建：月額 4,730 円、集合住宅：月額 3,575 円（プロバイダ料金別。+月額 500 円～1,000 円程度）

<携帯会社系> ※いずれも携帯電話契約とセットで月額 1,000 円程度割引有

・ドコモ光 戸建：月額 5,200 円、集合住宅：月額 4,000 円

・au ひかり 戸建：月額 5,600 円、集合住宅：月額 4,300 円

・ソフトバンク光 戸建：月額 5,200 円、集合住宅：月額 3,800 円

④モバイルWiFi ルーターを用いる方法

工事は不要ですが、ルーターの購入代金が必要です（数千円～1万円程度）。

・UQ「WiMAX+5G ギガ放題プラス」月額 4,818 円

・Y!mobile「Pocket WiFi プラン 2（ベーシック）」月額 4,380 円

（4）自分用パソコンの保有のすすめ、ならびに、入学後にお困りのとき

入学後、授業が本格化し、レポートの作成、調査・報告書の作成などの課題を行うためには、自宅、あるいは自室などで自分用のパソコンを保有していると、何かと好都合です。なお、大学では、情報処理演習室や学生研究室に学生用のデスクトップ型パソコンを用意しており、通学した際にはそれらを活用して、課題のレポート作成などに取り組むことができます。

自分用のパソコンを保有したいけどできなかった、通信環境が整わなかった場合などについては、永国寺キャンパス 3 階学務支援室までご相談ください。貸出用ノート型パソコン、情報処理演習室や学生研究室のパソコンの使い方などについてご案内します。